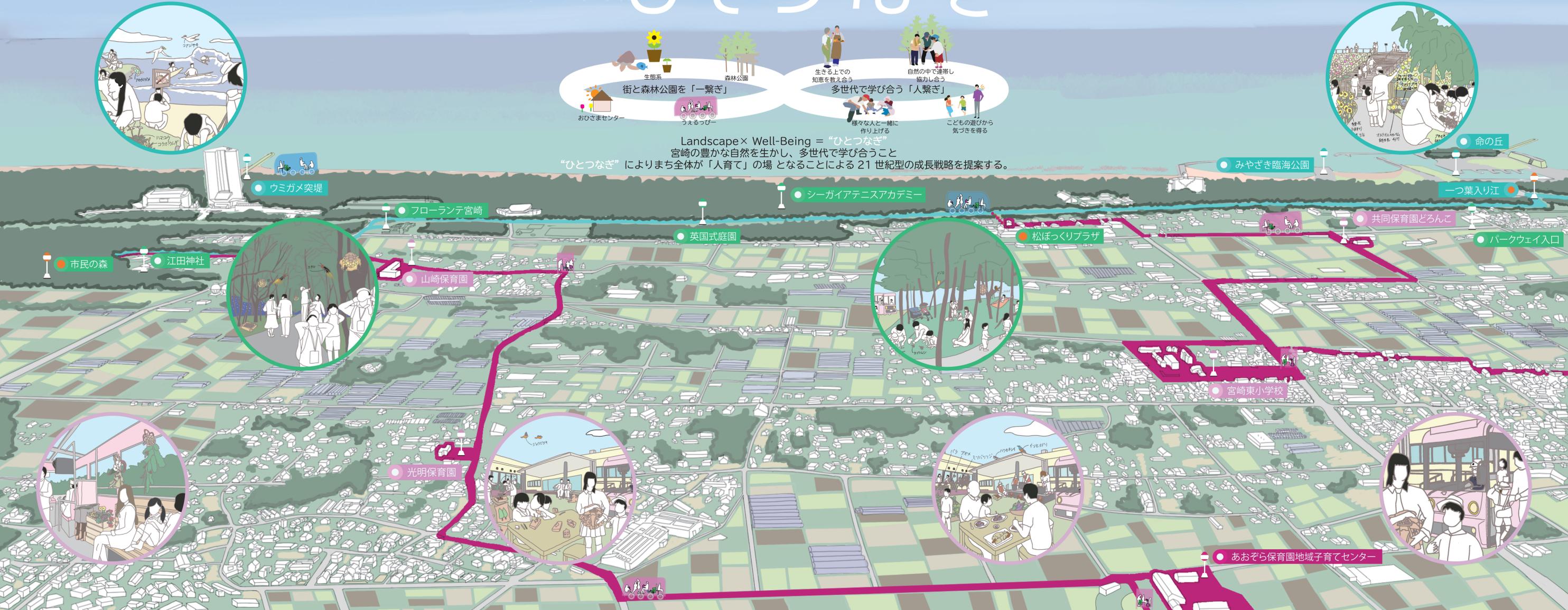


ひとつなぎ



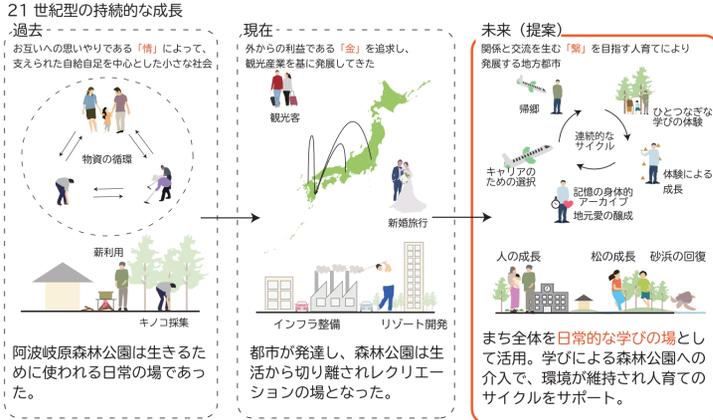
Landscape × Well-Being = “ひとつなぎ”
 宮崎の豊かな自然を生き、多世代で学び合うこと
 “ひとつなぎ”によりまち全体が「人育て」の場となることによる21世紀型の成長戦略を提案する。

■Proposal

- 宮崎のまち全体で豊かな自然を生かした「人育て」
1. 地区交流センターを活用して、自然を取り込んだ多世代につながる学びの拠点「おひさまセンター」にアップグレードする。
 2. 阿波岐原森林公園を、自然の中で人がつながる学びの場とする。
 3. まちと公園をひとつなぎにし、街全体での「人育て」を実現する。



■Vision



■Regional Analysis

まち

子育てのまち

令和3年社会生活基本調査 子育て支援センター数 33箇所
 宮崎県 共働き世帯の夫の育児時間最長 宮崎市 (宮崎移住情報サイト開設当時)

- 子育て支援センターは子育て中の親が悩みを気軽に共有する場になっている。
- 子育て環境はよくなっているが、問題は親育て。最近の若者は忙しく孤独な子育てになってしまうのが課題。子供も、親も集団でしか育たない。
- 支援センターに地元の人は来ないで普段の暮らしにおいて地元の人との関わりは少ない。

グリーンなまち

小学生以下無料だからありがたい。頻りに乗る。

宮崎駅前にはグリーンスローモビリティ「ぐるっぴー」が走り、あみろーど周辺の回遊性の向上に寄与している。

◎子供も大人も、人との関わりの中で育つことが大きな学びとなる。
 ◎地域子育て支援センターは数多く、転動してきた親同士の交流の場となっている一方で、地域住民の認知度は低い。
 ◎多様な人々が出会い、交流する場となるポテンシャルが存在する。

はやし

阿波岐原森林公園のクロマツ

松林の変遷

かつて 200年前 現在

イザナキノミコトが禊をした地に生えた聖なる松として、一ツ葉稲荷神社を立てた。 防風林としてが植えられた松は人間の生活を守り、支えるありがたい存在であった。 松の利用が少なくなったので松の手入れが行き届かず、松くい虫の被害を受けている。

松は利用がないので維持されない。そのまま放置して陰樹林に遷移させようという話もあるが、松と一緒に育った人は残してほしいと思うだろう。

塩分を含んだ風から農家を守っている。防風林は恩恵があるが、住民にとっては当たり前ものとなっている。

フローランテや市民の森は子どもとよく行くが、松林はあまり行かない。

既存の活動

◎地域の歴史文化と密接に関わるクロマツは存続の危機の最中にあり、残していく必要がある。
 ◎地域住民などの多くの人々の松林に対する興味・関心が欠如している。

公園整備の歴史

南国イメージの形成

戦前 昭和30~50年代

岩切章太郎の開発 新婚旅行の聖地

南国イメージを生かしたリゾート開発
 第一期 (1970頃) ゴルフ場を受けホテルやゴルフ場の開発
 住民への還元として動物園・遊園地の整備
 第二期 (1990頃) リゾート指定を受け本格的な開発
 第三期 (2000頃) 花や緑、海洋性レクリエーションのニーズに沿った施設整備

リゾート地として整備された多くの施設は、現在の阿波岐原森林公園に点在する資源として残されている。それぞれの施設は岩切のおもてなし精神を継ぎボランティアが活動しているが、施設単位での活躍にとどまっている。

自分たちで植えたチューリップの色が毎日変わるのが楽しみ。ボランティアをしていてここに来るのが好きになった。

ボランティアを始めて10年になるが、色々な人と会えるのが楽しい。

既存の活動

◎森林公園内の施設は点在していて接続性が悪く、生かされていない。
 ◎ボランティア団体も独立しているため、ボランティア団体同士のつながりを作ることが森林公園の発展に寄与する。

うみ

阿波岐原森林公園周辺の生態系

阿波岐原森林公園周辺では松林に加え、海岸や入江、池や河川といった多様な自然環境と人々が作り出したガーデンなどが存在する。それぞれの場所で特有の生態系が根付き、多種多様な生物と出会うことができる。

アカウミガメ コアジサシ フトヘナタリ ゴンゾボタル

宮崎海岸の海岸侵食

宮崎海岸ではダム建設や砂利の採取、港湾建設などによって砂の供給バランスが崩れ、砂浜の侵食が起こっている。それによってアカウミガメやコアジサシなどの生息環境が脅かされるだけでなく、砂丘崩壊による浸水といった災害のリスクが高まっている。

アカウミガメ保護に関しては正しい知識の共有が大事。近年では研究の結果、卵移植が悪影響を及ぼすことがわかった。

宮崎市内にアカウミガメについて学ぶ場はあまりない。

◎生物の多様な豊かな自然環境を理解し、大切にすることが必要である。
 ◎砂浜の侵食やアカウミガメの保護については認知を拡大する必要がある。

まちと森林公園を繋ぐモビリティ「うえるっぴー」

まち全体での子育てを実現するため「ぐるっぴー」の兄弟のグリーンスローモビリティ「うえるっぴー」を提案する。地域と阿波岐原森林公園を東西につなぐルートと南北の森林公園内を循環するルートを設定し、森林公園に気軽に訪れることができるようにする。「うえるっぴー」は幼稚園や保育園から大学といった様々な教育機関やおひさまセンター、児童館、公民館などの学びの場と森林公園をつなぐため、内部は多世代や地域間の交流の場となる。人と同時に花苗や松葉の堆肥の運搬機能を担い、地域と森林公園の植物の循環を生み出す。

おひさまセンター：生きるために人が育む自然の学び

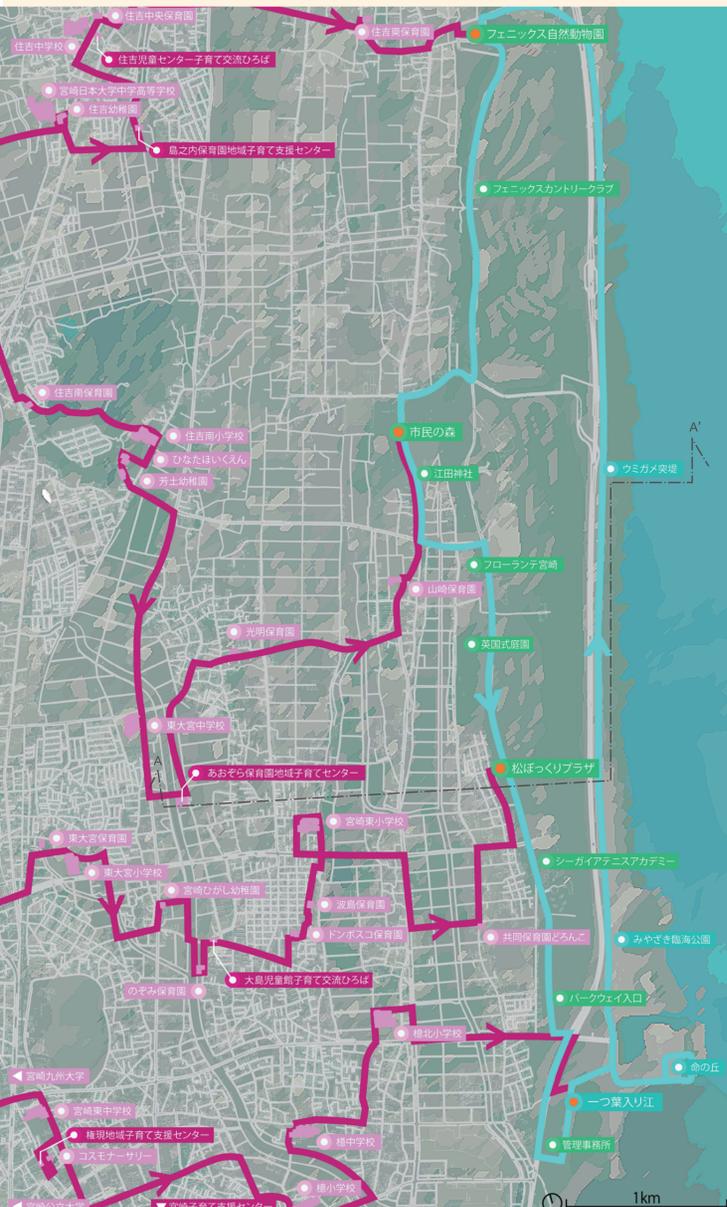
おひさまセンターは子どもやその親だけではなく周辺住民も含めた多世代が集まるまちなかの学びの場である。新たに小規模のガーデンやビオトープを作ることで街に開かれた空間とする。みんなで生態系を育むことで人々が教え合い、学び合う場となる。人々の手で育まれた自然環境が森林公園の生物を呼び寄せ、森林公園が心理的に近くに感じられるようになる。

松ぼっくりプラザ：自然の中で生きる学び

森林公園の松林の中を自然の中で遊び、憩う場とする。自然の癒しの効果を実感し、人が生きていく上でもたらされる自然の恩恵を学ぶ。現在あまり使われていない松林の中を癒しの空間として日常的に使うことで、人々は間接的に松を守ることに貢献できる。松葉コンポストで作られた堆肥はおひさまセンターや海の学び舎で肥料として使われる。松の枯れ木は家具の材料や薪として利用される。

うみの学び舎：大きな自然と命の学び

現在ではあまり使われていない海沿いのエリアを植物を介して人々に開かれた空間にする。ダム建設や港湾整備など人間の営みにより減ってしまった砂浜の問題や人間の生活を脅かす津波について、海沿いをしながら学ぶ機会になる。海岸侵食や津波の問題の認知が広がれば、その対策をとりやすくなり、自然と人が調和しともに成長する社会を実現できる。



アクティビティ

- つくる (Making)
- 見つける (Finding)
- 種をまく (Planting seeds)
- 子育てセンター施設管理 小さい子の世話 (Childcare center facility management, care for small children)
- 阿波岐原ファミリーガーデンクラブ 園芸の知識 (Awaokihara Family Garden Club, gardening knowledge)

月に一度、畑でとれた作物を使いごはん会をする。多世代とともに作り、料理の工夫やレシピを学ぶ。災害時の避難場所となることを想定し、かまどベンチを使って調理を行う。地域の人とコミュニケーションをとりながらご飯を作った経験は災害時の避難の際にも役立つ。



アクティビティ

- 食べる (Eating)
- 収穫する (Harvesting)
- 作る (Making)
- 南九州大学 園芸の知識 防災の知識 (Nankai University, gardening knowledge, disaster prevention knowledge)
- 宮崎地域コミュニティ課 地域交流センター運営 (Miyazaki Regional Community Center, community exchange center operation)



アクティビティ

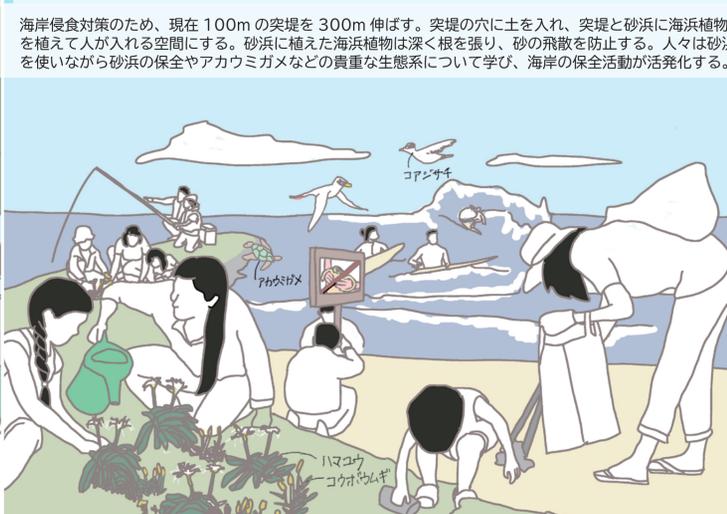
- 触れる (Touching)
- 瞑想する (Meditating)
- 木にのぼる (Climbing trees)
- 中部農林振興局 森林管理、松葉・薪の活用、コンポスト管理 (Chubu Rinko Kenkyukai, forest management, pine needles/wood use, compost management)
- みやざき公園協会 森林利用促進 (Miyazaki Park Association, forest utilization promotion)

月に一度、ナイトウォークを行います。真っ暗な中、光をたどって海まで歩いていく。夜にしか見られないたくさんの生き物と出会い、普段はあまり感じない生き物の多様性を体感し、生態系や生き物と人間との関係を学ぶ。



アクティビティ

- 散歩する (Walking)
- 発見する (Discovering)
- 耳をすませる (Listening)
- フェニックスリゾート ナイトウォーク企画・運営 (Phoenix Resort, night walk planning/operation)
- 宮崎大学 夜の生き物の知識 (Miyazaki University, knowledge of nocturnal life)



アクティビティ

- サーフィンする (Surfing)
- 釣りをする (Fishing)
- 掃除する (Cleaning)
- 宮崎野生動物研究会 アカウミガメの知識 (Miyazaki Wildlife Research Association, knowledge of Hawksbill sea turtles)
- みやざき臨海公園 サンビーチボランティア 海浜植物の植栽 (Miyazaki Rinkai Park, Sun Beach, beach cleanup, beach plant cultivation)

月に一度、命の丘では誕生月に自分の誕生花を植える行事を行う。観光客も含め、世代を超えて同じ誕生月の人が交流し、花を植えた後はみんなで命の丘に登り、自然災害について学ぶ。災害を自分や地域の人にとって身近にあるものとして再認識し、命の大切さに気づく。



アクティビティ

- 植える (Planting)
- 手伝う (Helping)
- 観光する (Touring)
- 宮崎県農工整備部海浜課 命の丘の説明 (Miyazaki Prefecture Agriculture and Industry Department, beach management, explanation of the Hill of Life)
- NPO法人オープンガーデン サンビーチボランティア 誕生花植栽管理 (NPO Open Garden, Sun Beach, birthday flower cultivation management)

運行スケジュール

時間	平日
7:00	30
8:00	30
9:00	30
15:00	15 30 45
16:00	15 30 45
17:00	15 30 45
18:00	30

学生の需要を考慮して放課後に多く運行

